

The background features abstract green geometric shapes, including triangles and polygons, in various shades of green, creating a modern and eco-friendly aesthetic.

2025年度 環境保全協定に係る報告書

作成：2026年7月13日
作新工業株式会社

会社概要

作新工業は、優れた材料特性を持つが成形が難しいとされていた超高分子量ポリエチレンに着目し、成形加工・用途開発研究を進め、1962年、いち早く製品化に成功しました。以来、超高分子量ポリエチレンの専門成形加工メーカーとして、様々な分野に使用される製品、Saxin ニューライト®を世に送り出してきました。



設立	1962年(昭和37年) 11月19日
株主構成	三井化学(株)～95.9% その他～4.1%
資本金	1億2800万円
敷地	13,800m ² (内建物5,700m ²)
従業員	90名 (2025年3月末現在)

行動方針

私たちは、超高分子量ポリエチレン成形・加工専門トップメーカーとして全てのステークホルダーから「信頼され、必要とされる」存在感のある会社を目指します。

1. 【安全と誠実】未来に誇れる「安全文化」を醸成し、
いかなる時も「揺るぎない誠実さ」を貫きます
2. 【価値の創出】モノづくりのプロとして、「質」「量」「速さ」を追求し、
お客様や後工程の期待を超える提案を続けます
3. 【主体性と協働】自分事として“考動”し、仲間の知恵を重ね合わせ、
共に最高の未来を切り拓きます
4. 【全社一丸】組織の枠を越え、プロ集団の総力を結集し、
お客様への提供価値を最大化します
5. 【成長と進化】静観せず動き、沈黙せず発言し、「できない」を「どうやるか」
に思考を変え、お客様や仲間のために最善を尽くします

2026年 4月 1日
作新工業株式会社
代表取締役社長 榎本 圭悟

環境方針

『私たちは、超高分子量ポリエチレンを主体とした 樹脂成形・加工メーカーとして、お客様重視と地域社会への影響度を常に認識し、法令・ルール及び当社が同意したその他の要求事項を遵守し、環境・安全・労働衛生の継続的改善に努めます。』

【環境】

1. 製品の開発から廃棄までの全ライフサイクルにわたる環境負荷について、その影響を評価し、低減に努めます。
2. 新しい技術・製品の開発により環境保全に貢献します。
3. 資源の有効利用をはかり、廃棄物の低減とリサイクル化を推進します。

2025年 4月 1日
作新工業株式会社
代表取締役社長 榎本 圭悟

ISO14001認証

作新工業は2009年2月に「環境マネジメントシステム(EMS)」の国際規格である ISO14001の認証を取得しています。

QMS(品質マネジメントシステム)及びEMSを当社の「CSR活動」の要とし、環境影響度の評価、廃棄物低減活動の推進、資源の有効活用、環境にやさしく安全な製品の創出などをPDCAのサイクルで継続的に改善し、『地球環境の保全に貢献し、お客様から安心して購入していただだけ、従業員が安心して働くことができる企業』として、活動を拡大していきます。

登録証



登録番号: E0915
登録日: 2009年02月18日
再認証日: 2020年06月12日
有効期限: 2029年06月25日
(ASR 移転日: 2012年03月01日)

作新工業株式会社

本社工場
滋賀県大津市関津 4-2-1

貴社の環境マネジメントシステムは、当社の審査の結果

JIS Q 14001:2025 (ISO 14001:2015+Amd 1:2024)

の要求事項に適合していることを証明します。

<登録範囲>

- ① 超高分子量ポリエチレン樹脂製品(射出製品、プレス製品、押出製品、加工製品)及びその他樹脂(ABS、PBT 等の汎用エンブラ)製品(射出製品)の設計並びに製造
- ② その他樹脂(MC ナイロン、POM、PEEK 等)加工製品の製造

本認証は、上記登録範囲に限り有効とします。

本認証は、環境マネジメントシステムが審査登録基準事項に適合して維持されていることを条件に有効とします。



エイエスアール株式会社
東京都中央区日本橋蛸留町 1-10-15
上級経営管理者

田口 大

第60回 琵琶湖市民清掃への参加（例年参加）

当社実施日／2025年6月16日（月）

主催者／滋賀県 琵琶湖を美しくする運動実践本部

清掃場所／小山川交差点川沿いから上流への遊歩道

作新工業では、琵琶湖市民清掃の時期に合わせて、
工場付近の小山川交差点から上流に向かう土手沿いの
草刈りを行いました。

※ これらの活動のほか、作新工業では地域美化活動として
工場周辺の歩道清掃を、毎月実施しています。



廃プラスチックを油に変える取組み

作新工業では、2024年よりサーキュラーエコノミー活動の一環として、廃棄物として処理していたプラスチックの一部を油化处理し、化学品原料である「廃プラスチック分解油」に変えるケミカルリサイクルを行っています。

今後も社内で発生する廃棄物の分別回収をすすめ、リサイクル率を高める活動を進めてまいります。

